



令和8年8月26日

小児がん啓発キャンペーン 広島城ライトアップ

9月1日点灯式、4日カープ戦では始球式

情報提供

全国の小児がん専門家による認定 NPO 法人 日本小児がん研究グループ（JCCG）は、「世界小児がん啓発キャンペーン：Gold September」に協力し、今年も全国各地で金色にライトアップします。広島では6年連続で広島城をライトアップし、初日に点灯式を行います。小児がんの啓発活動や家族の支援を進めている「がんの子どもを守る会」広島支部メンバーも参加し、オンラインでつないだ広島大学病院小児病棟では、弦楽四重奏の演奏もしていただきます。今年も趣旨に賛同いただいた村上農園の協力を得ています。4日は骨肉腫を克服した神田晴太郎さんがカープ戦の始球式に登板します。

点灯式：9月1日（火）19:00～ 広島城お堀北側の公園
※中継で結んだ広島大学病院小児病棟での弦楽四重奏の後、19:20 頃に点灯

出席者：広島大学病院小児科 岡田 賢教授
唐川 修平講師
村上農園 村上 清貴代表取締役社長
がんの子どもを守る会広島支部
澤邊めぐみ代表

弦楽四重奏：（ヴァイオリン）後藤明子さん、岡咲志乃さん
（ビオラ）増田喜代さん （チェロ）宮本隆一さん

点灯期間：9月1日（火）～7日（月） 日没～22時

主催：認定 NPO 法人 日本小児がん研究グループ（JCCG）

運営：Gold September 推進委員会

協賛：株式会社村上農園

後援：広島県、広島市、広島大学病院

始球式：9月4日（金）18:00～ MAZDA Zoom-Zoom スタジアム広島（広島市南区）
骨肉腫を克服した神田晴太郎さん(17)が投げます。

白血病や脳腫瘍などの小児がんは 10～14 歳の子どもの死因の第 1 位で、年間の新たな発症は約 2000～2500 人です。まだ救えない命を救うための治療の開発や、治療を終えた子どもがその先の長い未来を安心して健康に過ごせるようなサポート体制の確立など、課題は山積しています。現状を広く知っていただき、小児がんと向き合う子どもたちや、長い治療を乗り越えた子どもたち、そのご家族や医療従事者らの励ましとなるべく、小児がんのテーマカラーであるゴールドの明かりで未来を照らしたいと考えています。

今後も広島大学病院は中四国唯一の小児がん拠点病院として、地域診療の中核を担っています。





＜昨年ライトアップの様子＞

【問い合わせ先】

広島大学病院 広報

Tel : 082-257-5418 FAX : 082-257-5087

E-mail : byo-toku-chousa@office.hiroshima-u.ac.jp

発信枚数 : A 4 版 2 枚